

織維ニュース

2017年

7月11日(火)

<http://www.sen-i-news.co.jp>

検索



往 来

「多品種・
小ロット体制
を自ら確立し
てきたところ
が日本の産地
の強みだろ
う」と指摘するのは澤村
の清水民生社長(写真)。

例えば同
社と関わ
りの深い
北陸産地
では、生
産の海外シフトを見越し
て多くの産地企業が単品
量産から同体制への移行
を進めてきた。望む、望
まないにかかわらず、現
実を直視した上での判断
だつた。同様に同産地で
は販加工から自販、内需
型から外需型への移行機
運も高まりを見せる。「自
販機運を応援したい」、
輸出拡大には当社も積極
的に関わっていきたい」と
語る清水社長。多品種・
小ロット体制への移行を
果たしたように、自販型、
輸出型への移行が進みつ
つある同産地と、これからも共に歩んでいく。